

赤平市の子もたちの学力の状況

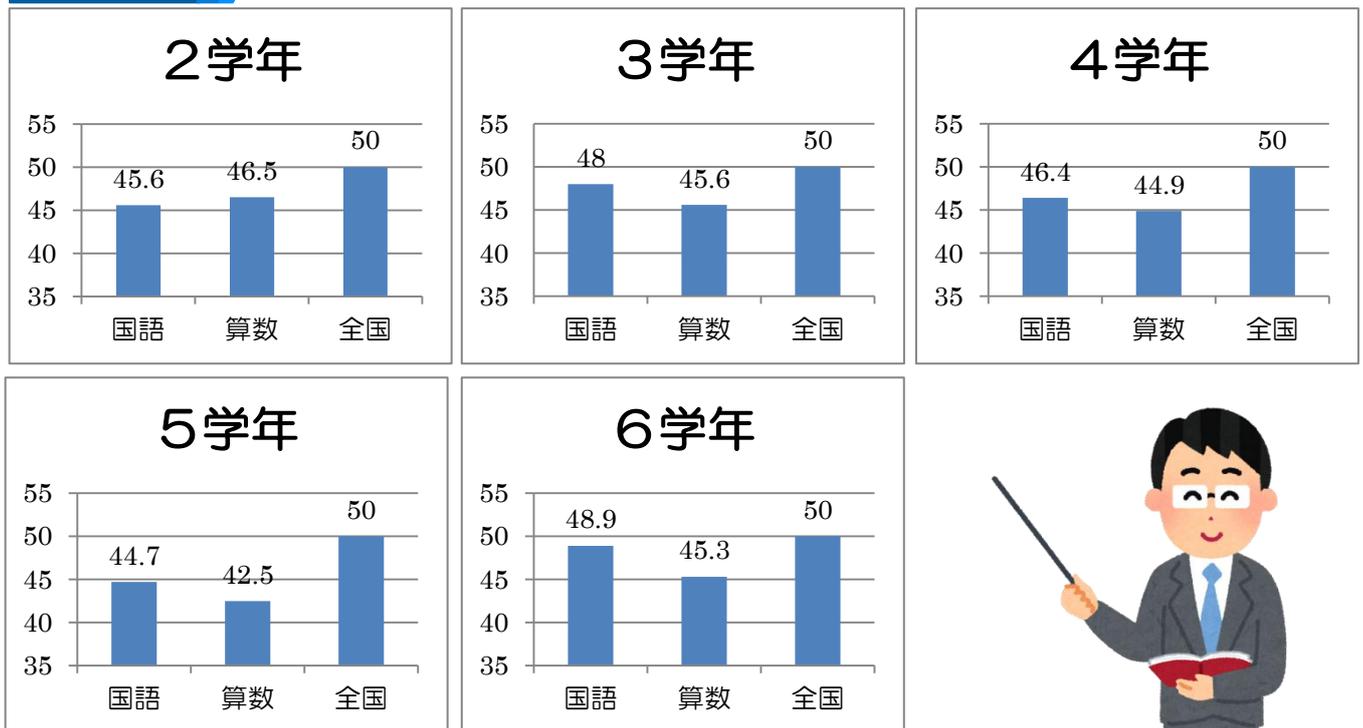
～平成28年度標準学力検査(NRT)の結果報告～

平成28年11月
赤平市教育委員会

本年度も赤平市の児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、今後の改善方を明らかにするため、市内の全ての小・中学校の小学校第2学年から中学校第3学年で標準学力検査(NRT)を実施しました。検査の結果は各家庭に個票として配布されています。

ここでは、赤平市全体の結果について、全国の偏差値平均50を基準とした相対値でお知らせします。

小学校



国語

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2学年	大事なことを聞き取る	文学的な文章を読む
3学年	大事なことを聞き取る 文学的な文章を読む	
4学年	指示語の理解 目的に応じて構成を考えて書く 話の中心に気を付けて聞く	ローマ字を書く
5学年	辞書を活用する 話の中心に気を付けて聞く	目的に応じて話す 説明的な文章を読む
6学年	組み立てを工夫して話す 意図・立場を明確にして話し合う 書く事柄や組み立てを考えて書く 古典的な文章を音読する 敬語について知る	

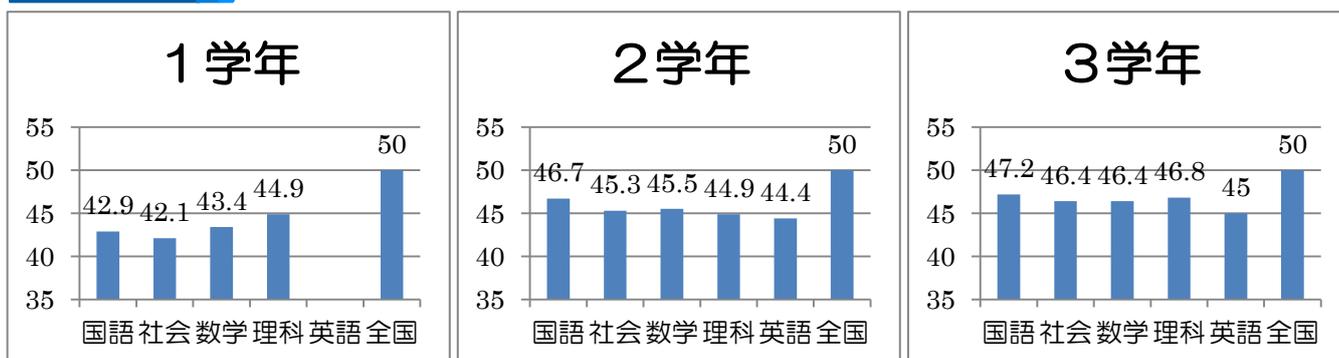
算数

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
2学年	図や絵を用いて数える	
3学年	表やグラフ	たし算とひき算の関係 かけ算の式
4学年		小数の表し方や計算 分数の表し方や計算
5学年		がい数と四捨五入 面積
6学年	小数のかけ算とわり算	2つの量の関係 百分率

赤平市全体として国語の読み・書き、算数の基礎計算の定着が大きな課題です。

- 学年によって違いはありますが、全体として国語の学習の成果が出ていることがうかがわれます。
- 一方、第3学年以上ではいずれも算数の平均が国語を下回っており、算数における基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をはかることが、学校や学年を問わず、市全体の課題です。

中学校



1 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語		表現の効果を確かめ正しく書く 漢字の読み書き
社会		中世～近代史 都道府県の名称と位置
数学		整数の性質 文字を用いた式
理科	振り子の運動 燃焼の仕組み	月と太陽

2 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	古典的な文章に親しむこと	話題をとらえ話し合うこと
社会	歴史の流れと時代区分	世界の古代文明と原始時代の日本
数学		比例と反比例
理科		植物の体のつくりとはたらき
英語		適切な表現を用いて書く

3 学年

	全国正答率より高い	全国正答率より特に低い
国語	論理的な構成を考え話すこと 古典的な文章に親しむこと 目的に沿って話し合うこと 課題を決め構成を工夫して書くこと 文の成分、語句や語彙の理解	漢字の読み書き
社会	近代史	近世史（安土桃山・戦国時代）
数学		連立方程式
理科	日本の気象 電流と磁界	化学変化
英語	強勢や区切りに注意して話す	まとまりのある英語を聞き取る 適切な表現を用いて書く

赤平市全体として数学の基礎・基本の定着が大きな課題です。

- いずれの学年、教科においても、全国の偏差値平均を上回ったものではありませんが、学年が上がるにつれ、偏差値平均が上がっており、中学校における指導の成果が出ています。
- また、全国の偏差値平均より高い領域等も増えていますが、数学については該当がなく、小学校の算数と同様に基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をはかることが、学校や学年を問わず、市全体の課題です。

赤平市教育委員会は、以上の結果を踏まえ、

- ・ 各小・中学校における学力向上プランの見直し
- ・ 指導方法、指導体制等の一層の改善充実
- ・ 家庭と連携を図った家庭学習習慣や生活習慣の定着

を学校全体で推進するよう働きかけを強化します。

また、学校支援員等の人的環境の改善や、ICT 機器の充足等の教育条件の整備等の施策を通じて、各学校の学力向上に向けた取組を支援していきます。

